

県女生、玉村町の「たまたん」をフィールドワークする！ 文学部総合教養学科 准教授 関村 オリエ

こんにちは。前回（平成26年9月号）、県立女子大学のフィールドワーク科目についてご紹介しましたが、今回は、実際に玉村町のご当地キャラクター「たまたん」を対象に行った学生（県女生）のフィールドワークについてご紹介したいと思います。県立女子大のフィールドワークとは、「大学外での現地調査などを通じた自律的な学習」のことを指します。毎年、多くの学生が地域のみなさんのご協力を得ながら、フィールドワークに勤しんでおります。ところで、「たまたん」を含むご当地キャラクターは、みなさんご存知のとおり、2000年以降に全国各地で地元PRのために誕生したマスコットキャラクターのことで、実は「ご当地」とは言いつつも、一番の活躍の舞台である地元においてあまり知られていないというケースが少なくありません。今回ご紹介する学生のフィールドワークは、こうしたご当地キャラクターの活躍の実態を調べ、考察することを目的としたものでした。このフィールドワークの結果によれば、幸い(?)「たまたん」は、地元のみなさんに親しまれながら、玉村町の地域社会において活躍するご当地キャラクターであったようです。以下、「たまたん」との出会いとフィールドワーク、そして4年間の学生生活を振り返る、山

本佳奈さんのコメントを紹介します。

“私が「たまたん」と初めて出会ったのは、4年前、まだ大学に入学したばかりの頃。近所のお祭りに出かけたときのことでした。真っ赤なバラの頭に緑のお洋服、なんとも愛らしい顔立ち…たくさんの人とカメラに囲まれて元気よくポーズを決めるそのキャラクターを、私は一瞬で好きになりました。この出会いをきっかけに、大学で履修した調査実習の講義では、「たまたん」の活動について実地調査を行いました。「たまたん」はただ可愛いだけでなく、その活躍の裏にはさまざまな困難があり、それを乗り越えるために運営側の大きな努力や愛情があることを知りました。私はこの春大学を卒業し、4年間暮らした玉村町からも引越しました。玉村を去る日、玉村宿で「たまたん」のぬいぐるみを買いました。車のダッシュボードに置いた「たまたん」を見るたびに、元気で一生懸命な「たまたん」の姿を思い出すことでしょう。これからも、「たまたん」の活躍を遠くから応援しています”



住民自治のまちづくり

企画課
☎64-7711

たまむら出前講座を ご利用ください

行政情報や、暮らしのお役立ち情報などを、職員が各地区の公民館や集会所などへ出向いて講座を開催する「たまむら出前講座」を実施しています。

これまででも各行政区、各学校、各種団体の皆さんにご利用いただいています。講師派遣は無料ですので、ぜひ積極的にご活用ください。

人気のテーマ（平成29年） 消費者被害の防止について

【開催するには】～依頼者へお願い～

- 会場（公民館など、集まりやすい場所）の提供
- 町内に在住、在勤などしている皆さんの集まり
- 10人以上の参加者見込み
- 政治、宗教、営利、暴力的活動が目的でない
- 苦情や要望、陳情を聞く場でない

【申し込み】～14日前までにFAXかメールで～

玉村町役場 企画課 まで
☎65-2592
メール kikaku@town.tamamura.lg.jp

出前講座メニューは、企画課（役場2階⑤番窓口）または町ホームページ<http://www.town.tamamura.lg.jp/>にあります。
※メニューにないものをご相談ください。